



*Think Automation and beyond...*



IDEC株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号  
TEL: 06-6398-2500(代表)  
<http://jp.idec.com>

IDEC Report 2015



この報告書は環境に  
配慮し、植物油インキを  
使用しています。





## Index

 02	<i>Corporate Profile</i>	02 Top Message
		05 Our Business
 17	<i>Technology Report</i>	17 Our Technology
	<i>Annual Report</i>	19 中期経営計画
21 トピックス		
23 財務報告		
 19	<i>CSR Report</i>	29 CSR報告
	 29	<i>Corporate Data</i>
37 グローバル体制		
39 IDECの歴史		
 35		41 会社情報/株式情報

## Think Automation and beyond...

人と機械がふれあうその接点に「安心」と「信頼」、そしてその先にある「新しい可能性」を創造する。

当社は、創業以来70年にわたり、制御技術を核とするさまざまな製品やサービスを世に送り出してきました。現在では、産業現場はもちろんのこと、安全性、操作性、信頼性、環境負荷低減が求められる生活の身近なシーンにおいても、多岐にわたりご活用いただけるまでにいたっています。

私たちは、「社会貢献を念頭においたものづくり」を経営理念のひとつに掲げています。企業として真の社会貢献を果たすために、当社で働く一人ひとりが従来からの延長線上ではなく、弛まぬ努力をもって

自己の研鑽に努めること、そして「常にお客さまの視点を大切にし、確かな技術でお応えする」という基本姿勢を決して忘れないこと。これこそが、IDECグループが真に選ばれた企業“プリファード・サプライヤー”として社会貢献を果たし、新しい可能性を切り拓く礎になると確信しています。

人と機械がふれあうその接点に「安心」と「信頼」、そしてその先にある「新しい可能性」を創造するものづくりとくらしの未来を輝かせるため、IDECグループは100周年へ、さらにその先に向けて歩み続けてまいります。

# 「企業の発展を通じて社会に貢献する」

社会的なニーズに対応することで、  
企業価値の最大化を追求する。

## 2015年3月期の業績

主力の制御用操作スイッチや安全関連製品など、制御機器製品が前期を上回る水準で推移し、環境関連ビジネスや自動認識機器製品の売上也伸長した結果、国内売上高は265億2千9百万円(前期比14.8%増)となりました。また、海外売上高は主に北米・中国において、制御用操作スイッチ、制御用リレーなどの制御機器製品やプログラマブルコントローラなどの制御装置およびFAシステム製品の販売が伸長したことにより、156億4千4百万円(前期比18.4%増)となりました。その結果、連結全体の売上高は421億7千3百万円(前期比16.1%増)、営業利益は29億1千万円(前期比24.2%増)となり、増収増益を実現することができました。

## 中期経営計画の取り組み

IDECグループでは、中期経営計画において、基盤事業での収益性向上、新規事業拡大に取り組んでいます。

既存事業分野においては、顧客ニーズに基づく制御ソリューション展開を強化し、差別化によるシェア拡大、収益性向上を図っています。具体的な取り組みのひとつとして、2014年5月に株式会社コーネットグループを買収し、顧客ニーズに対応する最適な制御システム製品の提供やエンジニアリングサービスなどを機動的に行える体制を整備しました。また、海外市場においては、アジアでも拡大が見込まれる高度な自動化、省力化のニーズに対応していくため設置した、中国のソフトウェア開発会社の顧客対応力強化に取り組んでいるほか、東南アジア市場における事業規模拡大のため設置したタイでの生産、販売拠点の本格稼働を推進しています。

新規事業分野においては、社会的ニーズが高まっている再生可能エネルギー分野で、IDECグループが培ってきたコア技術を活かした製品・サービスを開発するとともに、メガソーラーシステムの設計から施工、保守メンテナンスまでワンストップで提供していくことで、顧客ニーズ

に対応し、事業の拡大を推進しています。また、自動認識機器市場での事業拡大に向けて、世界有数の自動認識機器メーカーであるDATALOGIC社(イタリア)との戦略的パートナーシップのもと、制御機器で培った技術を活かした自社製品の開発を行うなど、設計から販売まで一貫した体制で事業を拡大してまいります。

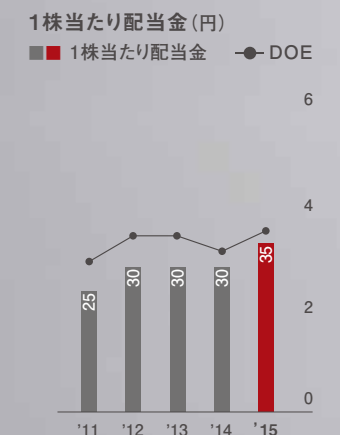
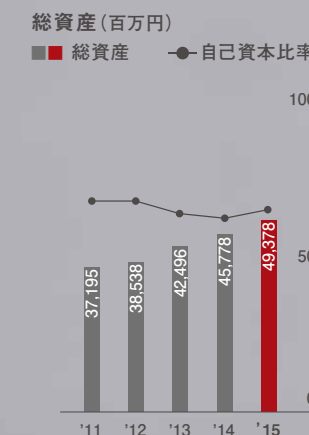
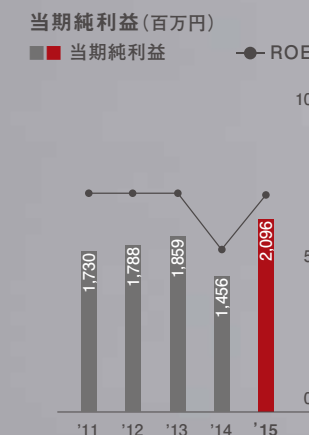
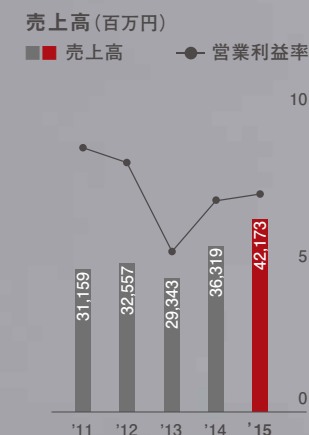
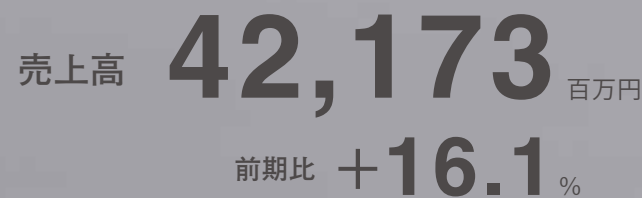
今後とも、「企業の発展を通じて社会に貢献する」という経営方針のもと、IDECグループが創業以来培ってきた技術を活かし、社会的なニーズに対応していくことで企業価値を向上させ、利益還元に努めてまいります。ステークホルダーの皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長

舩木俊之

[財務ハイライト] 主力製品が前期を上回る水準で推移し、新規事業の売上也伸長。



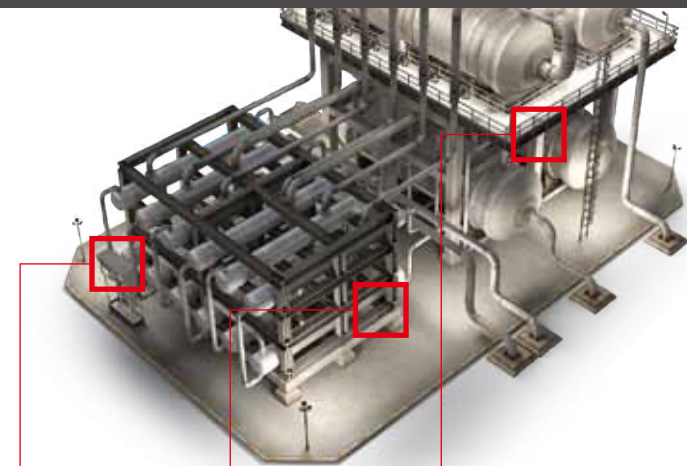


# ものづくりの現場をより安全で快適な環境に。

人と機械をつなぐ制御機器製品の活躍の場はさまざまです。工場のあらゆる現場から、私たちの身近なシーンまで。IDECグループは、ものづくりとくらしの未来を、「制御の技術」で支えています。

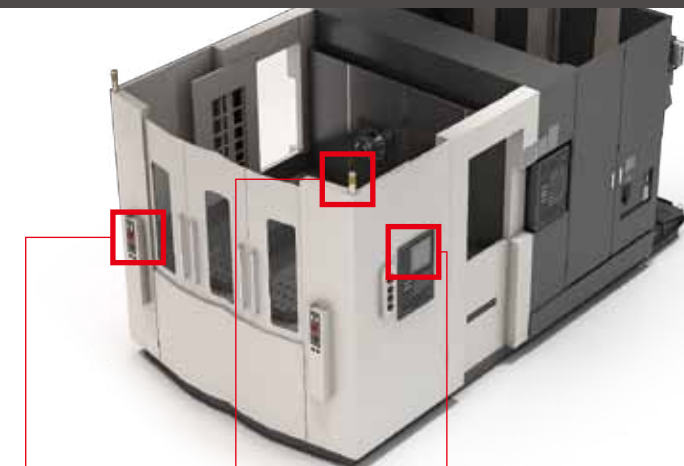


## 防爆ソリューション



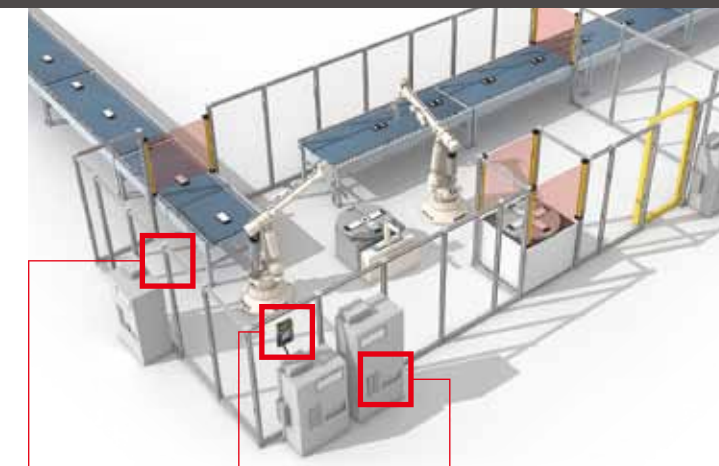
- **タッチスイッチ付表示器 EX4R形**  
爆発危険場所でのシステム構築をバックアップ。
- **耐圧・安全増防爆構造大形コントロールボックス EC2C形**  
欧州防爆指令ほか主要な海外認証を取得。
- **防爆LED照明 VMV形**  
爆発性ガスを扱う事業所や倉庫の省エネに貢献。

## オートメーション



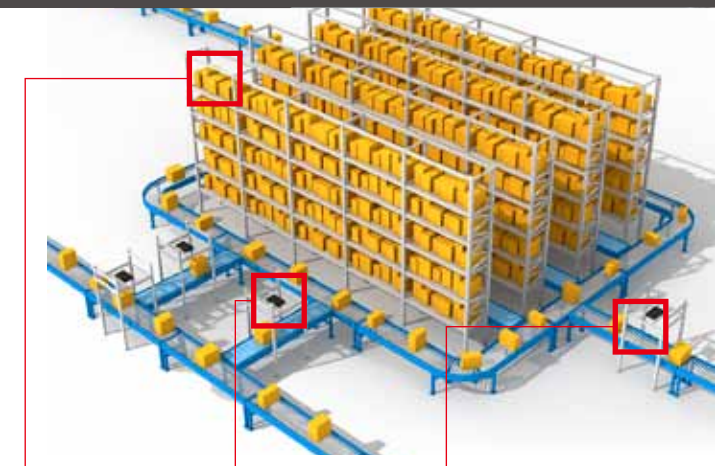
- **小形コントロールユニット LBシリーズ**  
操作面をスマートに演出。
- **積層表示灯 LD6A形**  
光と音であらゆる場所での異常をお知らせ。
- **プログラマブル表示器 HG3G形**  
コンパクトな本体に多彩なインターフェイスを搭載。

## 安全ソリューション



- **安全スイッチ HS6B形**  
3接点内蔵で世界最小クラス。
- **小形ティーチングペンダント HG1U形**  
各種機械の安全なティーチング環境を実現。
- **2極強制ガイド式リレー RF2形**  
安全対策のコスト削減と省スペース化をサポート。

## 搬送系システム



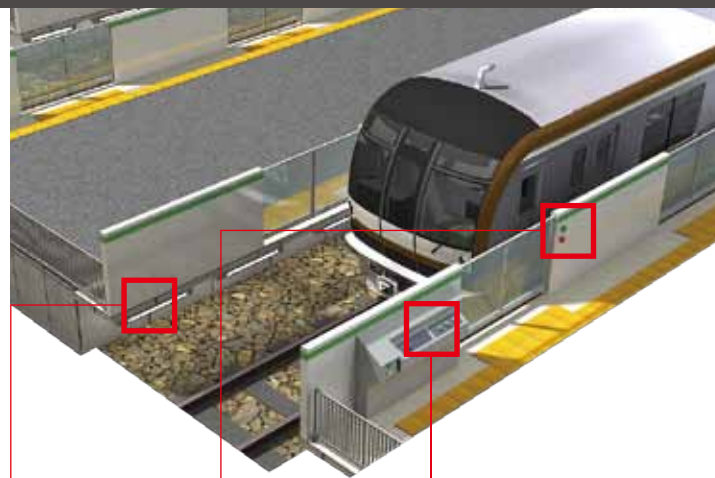
- **高天井用LED照明 LG1H形**  
天井高に合わせて選べるバリエーションをラインアップ。
- **産業用Bluetooth内蔵2次元コードリーダ**  
高い操作性と優れた読み取り性能で作業効率アップ。
- **小形光電スイッチレーザタイプ SA1E-L形**  
微小ワークや高速移動ワークを安定検出。



くらしのシーンをより豊かに、スマートに。

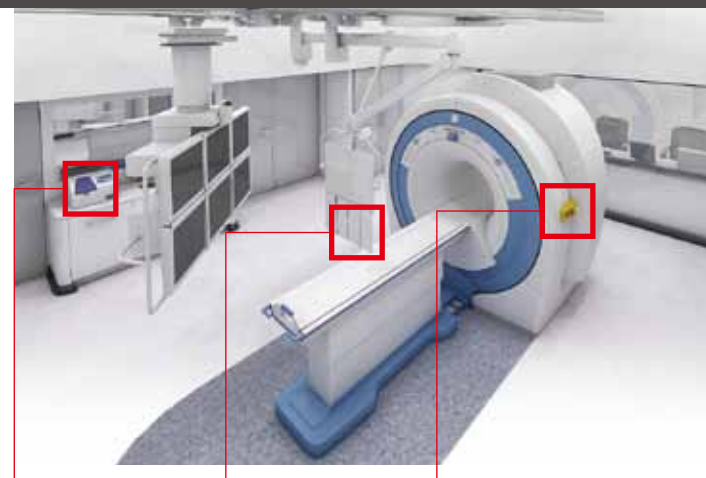


公共交通機関



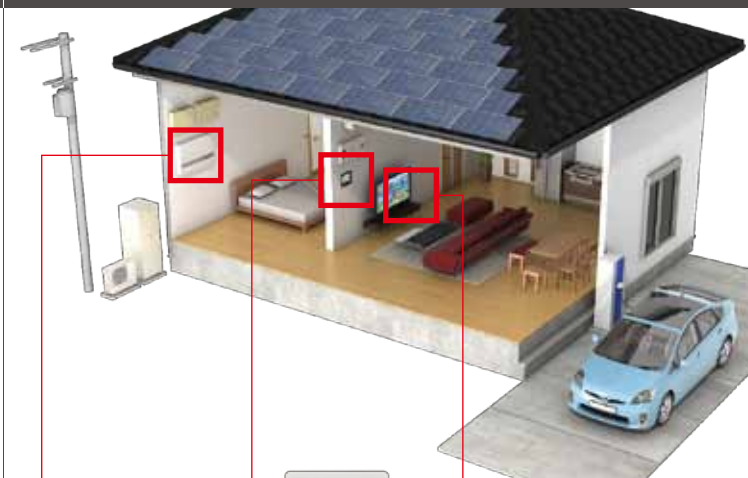
- LED照明ユニット LF1D/2D形  
車両下部の保守用途にも活躍。
- 超高輝度LED表示灯 AP22形  
圧倒的な視認性で注意喚起用表示灯として最適。
- 小形コントローラ FT1A形  
駅の転落防止用可動柵の制御にも活躍。

医療



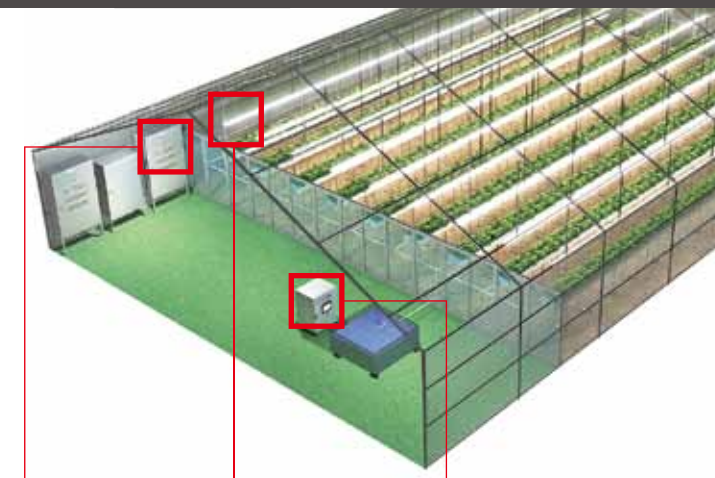
- 固定式1次元 CCDスキャナ WB1F形  
医療分析器の小形化に貢献。
- 医療機器用 グリップスイッチ  
優れた操作性で好評。
- 非常停止用 押ボタンスイッチ Xシリーズ  
万が一の危険時に、機械を確実に停止。

環境・エネルギー



- パワーコンディショナ PJ1A形  
業界最小サイズのコンパクトデザイン。
- HEMSコントローラ  
家庭で使うエネルギーの「見える化」を実現。
- モニタリングユニット  
発電やシステムの状態を24時間見守り。

農業ソリューション



- 制御技術  
温度や湿度はもちろん、光や水も高精度に制御。
- LED技術  
光合成の促進や病気抑制に適したLED技術。
- GALF技術  
微生物を活性化させる微細気泡を生成。





竹下 照彦 左  
Prothais Morgane / 右  
機器製品事業部 企画部



本田 貴志  
電子製品事業部  
企画開発部

機器製品事業

安全性と使いやすさを  
徹底的に追求した製品を世界に。

製品の品質や耐久性、安全性を追求することはもとより、デザイン性にも優れた製品群を拡充しています。産業機器分野だけでなく、新規分野における国内外のお客さまのニーズにお応えできる製品を、バリエーション豊かに展開してまいります。



河中 泰治  
機器製品事業部  
事業統括部長

電子製品事業

より快適に、より操作しやすい  
制御システムを身近な環境で構築。

設計の工夫、部品調達と生産体制のグローバル化、自動化の追求、ソフトウェアの自社開発など、IDECのものづくりノウハウを結集して、高付加価値でありながらグローバル市場で戦えるコスト競争力を持った製品づくりに取り組んでいます。

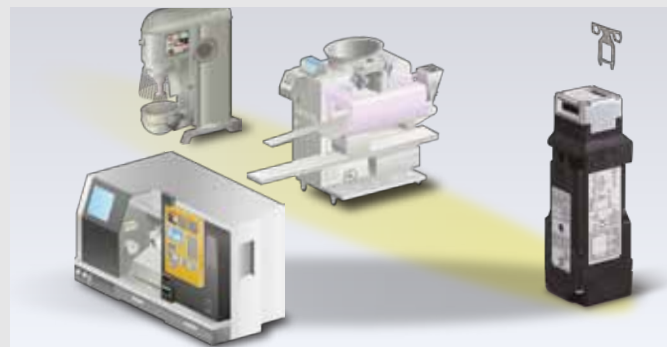


錦 朋範  
電子製品事業部  
事業統括部長

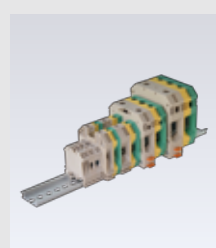
安全スイッチ  
HS5L形

取り付けスペースが小さな中小形機械への取り付けに適した仕様の、小型ソレノイド付安全スイッチです。

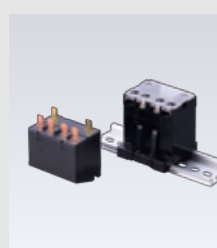
[ 中小形機械の搭載に適したHS5L形 ]



非常停止用  
押ボタンスイッチ  
XWシリーズ  
接点のON/OFF状態が離れた場所からでも簡単・確実に確認できるインジケータタイプをラインアップ。



端子台  
BYシリーズ  
配線時の省工数と耐振動性に優れたスプリングクランプタイプと押ねじタイプの2種類をラインアップし、用途に応じた提案が可能です。



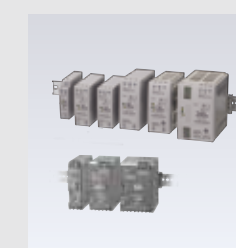
パワーリレー  
RLシリーズ  
盤内省スペース化に貢献する高負荷対応パワーリレー。コンパクトかつ高容量(1極:30A、2極:25A)を実現しています。

コントローラ  
FT1A形

「FT1A形」コントローラは、さまざまなアプリケーションに対応できるローエンド製品です。中でも表示器一体形コントローラTouchタイプはコンパクトなI/O一体形で、ユーザーアプリケーションの省配線、省スペース、省工数に貢献する、他社にないユニークなコントローラです。



プログラマブル表示器  
HGシリーズ  
高解像度液晶、高輝度LEDバックライトの搭載で、表示性能を高めるとともに、通信性能も向上。幅広いシーンで快適な操作環境を創造します。



スイッチング電源  
DINレール取付タイプ  
使いやすさ、機能性を追求しながらも、スリム化により制御盤内のスペースを削減し、小形化、コストダウンに貢献するグローバル市場向けの電源です。



小形光電スイッチ  
SA1E形  
独自の光学設計・生産技術により安定検出を可能にし、水やほこりに強い保護構造を有するセンサ。透明体検出タイプをはじめ、幅広いラインアップを取り揃えています。





吉野 孝則 / 左  
 防爆・システム事業部  
 防爆・システム生産部

中島 幸市 / 右  
 防爆・システム事業部  
 システム企画開発部



河合 誠 / 左  
 竹内 颯汰 / 右  
 LED事業部 LED生産部

## 防爆・システム事業

防爆技術とシステムエンジニアリング技術で、生産現場の安心・安全・快適をサポート。

防爆環境での安全性・生産性を向上させるため、ATEX指令(欧州防爆指令)、IECEX防爆認証、UL規格に対応した製品ラインアップの強化や、水素エネルギーの普及に備えた水素ガス対応防爆製品の開発・拡充に取り組んでいます。また、顧客ニーズにお応えできるシステム開発と構築も進めています。



梶原 英之  
 防爆・システム事業部  
 事業統括部長

## LED事業

用途や場面に応じたあらゆるシーンに最適な光を提供。

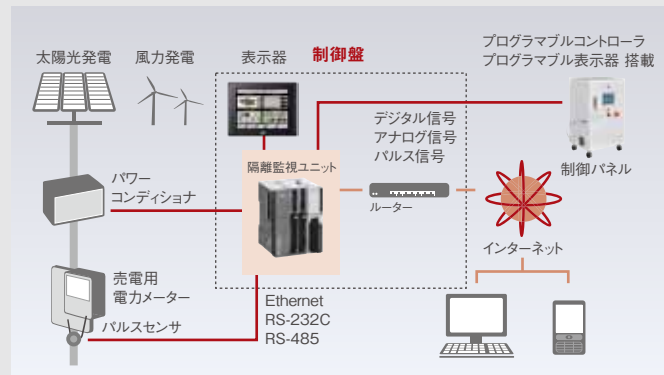
1980年代から、白色LEDデバイスをはじめ、機内照明、調光システムを含めたオーダーLED照明、高天井用や低温場所用など、お客さまのさまざまなニーズに応じてきたIDECのLED技術。長年培ってきた技術を活かし、さまざまなシーンを照らす新しい光をご提供しています。



中野 智之  
 LED事業部  
 事業統括部長

### 遠隔監視システム

発電電力量や各種装置の稼働状況を遠隔地からインターネットを介してリアルタイムにモニタリングでき、異常発生時にはEメールでお知らせします。



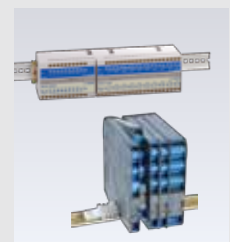
### 防爆LED照明器具

爆発性ガスを扱う事業所や倉庫の省エネと省メンテナンスを実現。高天井から低天井・タンクの透視灯用まで豊富な種類を揃え、防爆構造ながら、小形・軽量を実現しています。



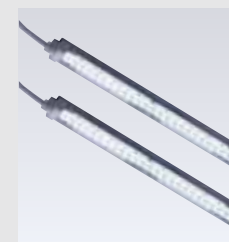
### 防爆コントロールボックス/ EC2B形ユニット/ EU2B形

海外向けプラントに最適なATEX指令適合に加えUL認証を取得。ユニットはパイロットライト、押ボタンスイッチなどを完備しています。



### バリアシリーズ

本質安全防爆構造のバリアシリーズには、機械安全を実現するタイプも備えており、各種入出力機器を使用できます。



### 植物育成LED照明

植物育成に最適な波長の追究や均一配光を、自社で実証することで実現しました。さまざまな植物の栽培環境に対応します。



### レンジフードLED照明

FAで培った防じん・防水技術により、蒸気・油などの苛酷な環境にも対応したLED照明です。



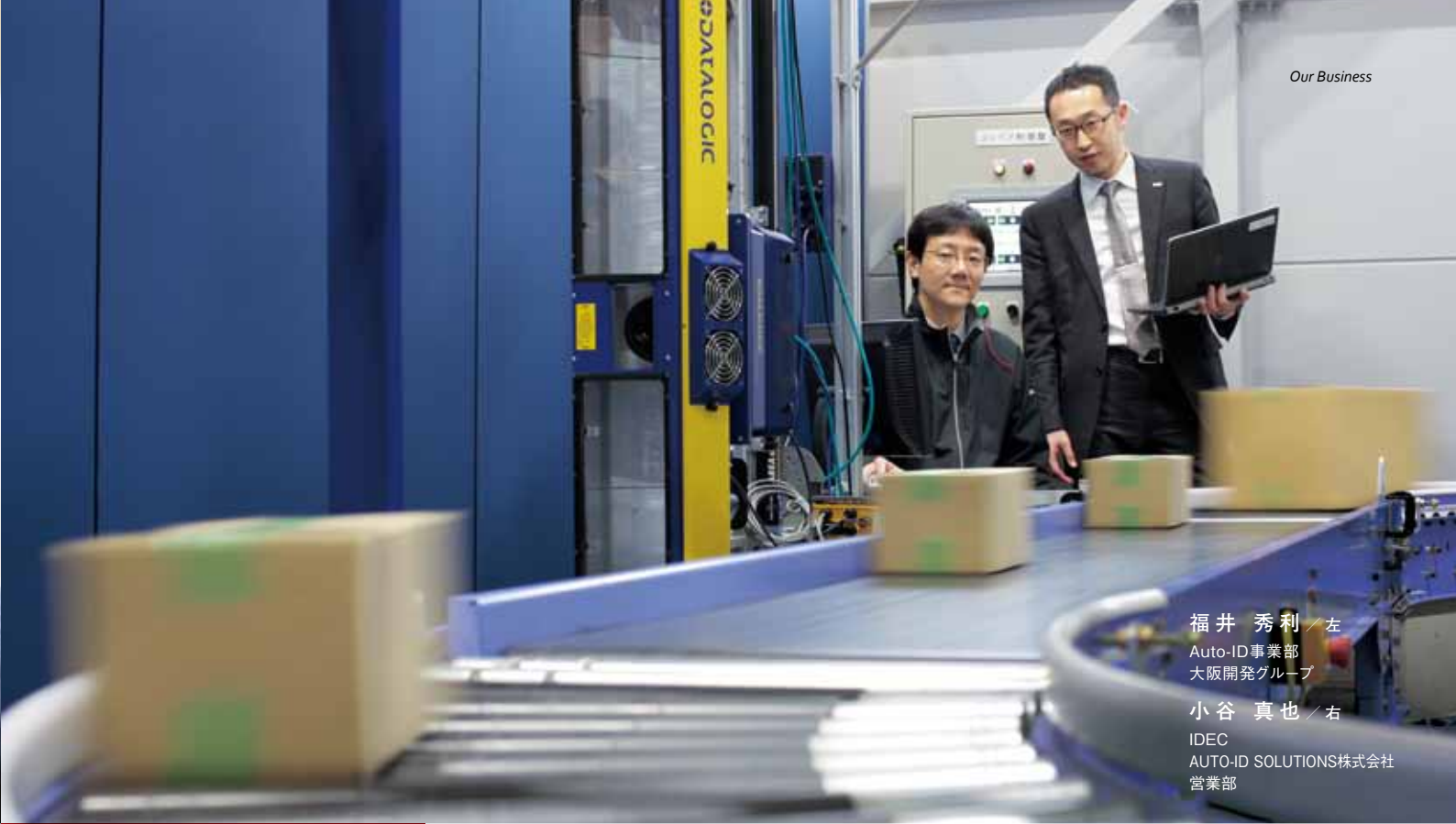
### 高天井用LED照明ユニット LG1H形

独自の光学設計でまぶしさを軽減した、ものづくり現場に最適なLED照明です。





谷後 康弘 / 左  
株式会社コーネット  
取締役  
阿部 匡 / 右  
IDEC  
エンジニアリングサービス株式会社  
機器営業部



福井 秀利 / 左  
Auto-ID事業部  
大阪開発グループ  
小谷 真也 / 右  
IDEC  
AUTO-ID SOLUTIONS株式会社  
営業部

### 制御ソリューション事業

顧客の「困った」に、最適なソリューションを提供。

ものづくり現場の生産性向上、省力・省人化、安全環境の実現など、顧客ニーズに対応する最適な制御システム製品の提供やエンジニアリングサービスなどを機動的に行っています。



武仲 清貴 / 左  
株式会社コーネット  
代表取締役社長  
上村 千年 / 右  
IDECエンジニアリングサービス株式会社  
代表取締役社長

### Auto-ID事業

広がる市場とお客さまニーズに、豊富な自動認識器でソリューション提案。

バーコードをはじめとする自動認識システムは、絶え間なく進化を続けています。お客さまに最適なシステムをご提案することはもちろん、市場ニーズをいち早くキャッチし、新規技術を取り入れたソリューションの創造にも取り組んでいます。



原田 博丞  
Auto-ID事業部 事業部長  
IDEC AUTO-ID SOLUTIONS  
株式会社  
代表取締役社長

### 制御盤・操作盤の設計製作

制御盤・操作盤の設計から製作までを行っており、部品調達や制御盤設計・製作、タッチパネル画面作成、機内配線から現地立ち上げ、検査まで電気制御の一貫体制を整えています。



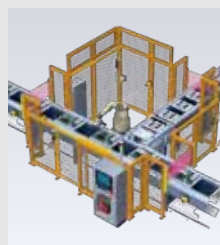
#### ソフト設計

一品一様の制御ソリューション構築に必要なPLCラダープログラムなどを、システムを知りつくした設計者が開発しています。



#### ハーネス加工

給電ケーブルなどの極太の動力線から、極細の信号線まで各種・各サイズの加工に対応。



#### ロボット関連

高いシミュレーション力に基づき、ロボット活用の自動化システムおよび安全系システムを提供しています。



#### リテール分野

さまざまな店舗形態に対応し、セルフレジなど最新のPOSシステムソリューションや、店舗・サプライチェーンマネジメントに適したモバイルデバイスなどを提供します。



#### 物流・ロジスティック分野

空港手荷物自動仕分けシステムや、宅配物流システムなどに対し、高速ビジョンシステム、高速レーザスキャナ、自動寸法計測システムを活用した最新のソリューションを提供します。



#### FA(ファクトリーオートメーション)分野

多岐にわたる製造業の生産自動化、品質管理、トレーサビリティ、入出荷・在庫管理に活用できる自動認識ソリューションを提供します。



環境エネルギー事業



すべては、人のくらしと地球を守るための  
環境エネルギー技術。

光、水、土、食料…。私たちが生きていくのに欠かせない地球の恵みを守り続けるため、IDECが培ってきた、制御技術、環境技術を活かし、環境エネルギーソリューションを創造しています。

小川 隆宏  
IDECシステムズ&  
コントロールズ株式会社  
環境エネルギー事業統括部  
アグリシステム部



田近 雄彦  
IDECシステムズ&  
コントロールズ株式会社  
専務取締役

鹿子沢 悟史  
IDECシステムズ&  
コントロールズ株式会社  
環境エネルギー事業統括部  
スマートエネルギー事業部  
営業部

[ 農業ソリューション ]

太陽光併用型農業プラント

IDECはハウス内で栽培する太陽光併用型農業プラントを推進しています。温度や光などを管理する光合成環境の管理と、根による養分吸収促進のための根圏環境の管理を組み合わせ「総合管理」で、おいしく、安全・安心で高品質な農産物を効率的・安定的に生産する、強い農業を実現します。機器の販売だけでなく、農業プラントの設計・建設、農業指導などトータルで提案します。



植物育成用ファインバブル発生装置  
agriGALF

微細気泡生成技術により土中の微生物を活性化させることで、植物の健全・健康な成長を促進します。



制御技術

ハウス内外の温度・湿度や光量、CO<sub>2</sub>濃度の状況から、照明や窓の開閉などを高精度にコントロールします。

[ エネルギーソリューション ]

HEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)

IDECの先進的なHEMSにより、電力やガス、水道など家庭で使うエネルギーの「見える化」や「最適制御」を実現。パワーコンディショナや発電・稼働状況をオンライン管理できる「安心見守りサービス」も提供します。



パワーコンディショナ  
高効率、施工性の高さで好評を博しているパワーコンディショナに屋外用タイプが登場。

メガソーラー事業

システム設計、最適ハード・ソフト選定・調達、施工、各種申請、保守・メンテナンスまでワンストップで提供。



HEMS  
コントローラ

クラウドシステム



# Technology Report



## 研究開発、知財、国際標準化の三位一体体制で勝ち抜く

IDECグループは創業以来、制御機器や制御システムの事業構築を推進する中で、人と機械が共存する環境での安全性を徹底的に追求し、多くの技術や製品を生み出してきました。また、国際標準を自ら創成する活動にも積極的に取り組み、ISOやIECのさまざまなテクニカルコミッティに日本を代表して参画し、国際規格創りに成功するなど数々の成果を収めてきました。

これらの歴史の中で、私たちは「研究開発+知財+国際標準化」の三位一体の開発推進体制を構築し、研究開発マネジメントを推進しています。このような推進体制により、ファインパブル技術やフォトニクス技術などの先端応用技術分野にも積極的に取り組み、グローバル市場で勝ち抜いていける強い製品、スタンダードになりうる技術開発を推進してまいります。

**藤田 俊弘**  
常務執行役員 技術戦略本部長  
IDECグループ C.T.O.

IEC:International Electrotechnical Commission (国際電気標準会議)

### 【技術戦略方針】

## 技術に裏打ちされた製品やサービスを社会に提供していくために。

私たちは、「人と機械の最適環境を創造すること」を自らの存在価値とし、各人が無限に近い情報を分析活用し、変化する社会へ対応するとともに、「研究開発+知財+国際標準化」の三位一体の開発推進体制のもと、コアテクノロジーの集積、外部技術との融合、多様なコミュニケーションをもって、技術と機能のイノベーション創出を図ります。



社内外のリソースを融合・発展させ、イノベーションを創出します

**西原 一寛**  
技術戦略部  
部長

#### ■国際標準化

「安全」「ファインパブル」の国際規格制定に参画技術の特許化するだけでなく、国際標準化などを利用して最適なバランスでオープン(公開)とクローズ(秘匿)をコントロールすることで市場を創出し、シェア拡大することが国際競争を勝ち抜くために不可欠だとの考えに基づき、「安全」や「ファインパブル」に関するISOやIECの技術委員会に日本を代表して参画し、国際規格創出に取り組んでいます。



国際標準化活動への貢献が評価され、藤田常務執行役員が経済産業大臣賞を受賞



IEC国際規格創りに成功した3ボジションインネーブルスイッチ

#### ■産官学連携

相互浸透型協働システムによるイノベーション創出世界トップレベルのフォトニクス研究開発拠点を目指す、「大阪大学フォトニクス先端融合研究拠点」事業に参加しています。ここではウルトラファインパブルの生成、計測、応用技術の開発など、大学や企業との連携により、IDECにおける新分野のイノベーションに取り組んでいます。



IDEC大阪大学ラボ



国際標準化を意識した知財戦略を推進しています

**笠間 俊幸**  
国際標準化・知財推進センター  
知財戦略グループ

#### ■知的財産戦略

「標準化」を重視した知財戦略

国際標準化を重視し、研究開発・知財・国際標準化が三位一体となった開発推進体制のもと、知財部門においても、標準化動向を考慮しながら特許マップを作成し、国際標準創りを念頭に集中的、戦略的な特許出願を推進しています。

2015年3月31日現在

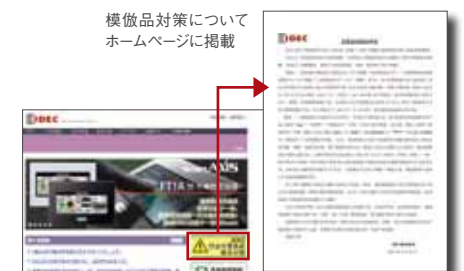
国内外における知的財産権の保有状況	
国内特許権・実用新案権	249件
国内意匠権	364件
国内商標権	139件
海外特許権・実用新案権 <sup>(※)</sup>	97件
海外意匠権 <sup>(※)</sup>	44件
海外商標権 <sup>(※)</sup>	120件

(※)各国での権利保有数の合計

#### ■模倣品対策

知財侵害行為に対して積極的に権利を行使

中国等で出回っている模倣品に対し、迅速かつ積極的な法的対応・権利行使を行っています。IDECは顧客の財産や生命を守る安全製品等を取り扱っており、粗悪な模倣品により緊急時に機能しなかった場合、顧客の財産や生命に損害を与えることにもなりかねないため、自社の権利行使のみならず、顧客安全の一環として取り組んでいます。





[ 中期経営計画 ]

# Clear Vision

ニーズ対応型製品・サービスの提供、  
「地産地消」体制による海外市場戦略で持続的な成長を目指す。

IDECグループは、産業のオートメーション化の流れの中で、1945年の創業以来70年にわたって技術・製品の質を高め、「IDECブランド」を確立してきました。

国内市場においては、産業現場の安全確保や環境問題などの社会的な背景も踏まえ、長年培ってきた技術を活かして、さまざまなニーズに対応するための製品やソリューションを提供することにより、事業の拡大を推進しています。また海外市場では、成長するアジア地域において、中国での開発、製造、販売拠点の整備、タイでの新拠点の設置など、地域に根差した「地産地消」の体制強化を進めています。

今後ともマーケットインの発想で顧客ニーズに即した「IDECらしい製品・ソリューション」を展開し、各国現地市場に深く根をおろして、持続的な成長を実現してまいります。

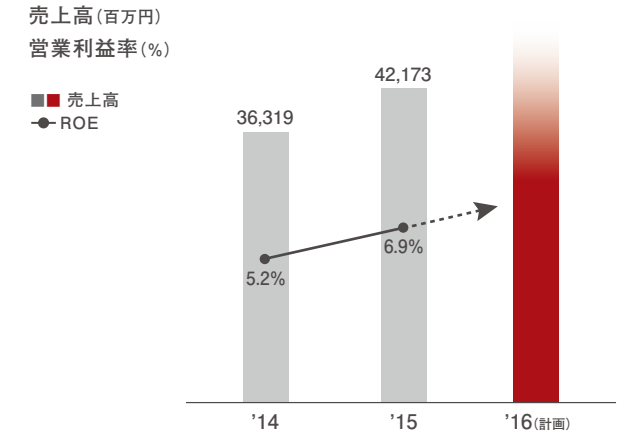
代表取締役専務 船木 幹雄



## 中期経営計画の進捗について

売上高	営業利益率	前期比
<b>42,173</b> 百万円	<b>6.9</b> %	+0.5 ポイント
前期比 +16.1 %	ROE	前期比
	<b>6.9</b> %	+1.7 ポイント

中期経営計画2年目となる2015年3月期は売上高421億円となり、中期経営計画初年度に設定した最終年度の目標額400億円を上回りました。2016年3月期は売上拡大とともに、より一層収益性を意識したビジネス展開を進め、ROE向上にも取り組んでまいります。



## 既存事業の収益性向上、海外売上拡大

基盤事業である操作スイッチをはじめとする制御機器分野において、シェアを高め、さらなる収益性の向上を図るとともに、IDECグループとして連携し、顧客ニーズに基づく制御ソリューション展開を強化してまいります。海外においては、タイに設置した新たな生産・販売拠点を中心に、東南アジア市場での売上拡大を図るとともに、中国での事業拡大を推進するため生産・物流・開発体制のさらなる強化を図ってまいります。

- 制御ソリューション事業強化
- 中国事業体制の強化
- 東南アジア市場開拓

### 海外売上推移

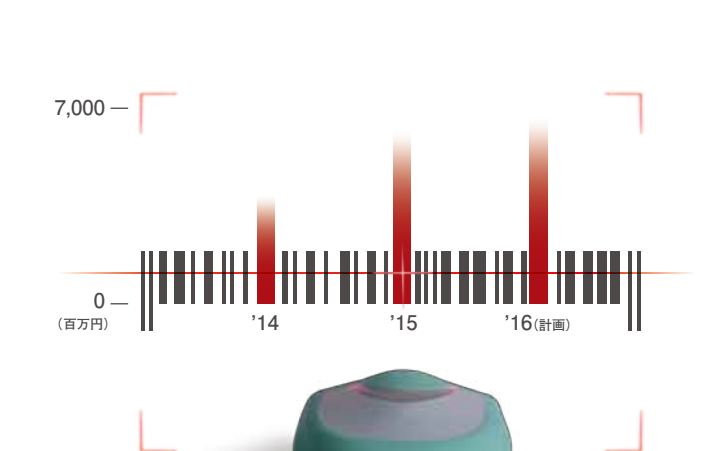


## 新規事業の拡大

2015年3月期から事業活動を本格化した自動認識機器分野において、新製品を投入し、新たな市場への浸透を図ります。また、社会的ニーズである環境問題に対応していくため、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー関連の事業展開を促進するとともに、IDECグループのコア技術を活かして農業のオートメーション化に貢献してまいります。

- 自動認識機器事業の拡大
- 環境・エネルギー事業の強化
- 農業ビジネスの本格展開

### 新規事業の売上推移





# TOPICS

2014年4月～2015年3月の主なトピックスをご紹介します。

2014 7 高天井用LED照明 LG1H-200シリーズ発売

高効率と低グレアを両立し、さらに軽量化も実現した使いやすい高天井用LED照明です。

LED製品



2014 10 ソレノイド付安全スイッチ HS5L形発売

中小形の機械向けに最適な、最新の国際安全規格に対応したソレノイド付安全スイッチです。

安全製品



2014 10 FT1A形Touchにトランジスタ出力タイプ登場

温度調節器などアナログ機器と接続するシステムに最適です。

電子製品



2014 10 薄形インターフェイスリレー RV8H形発売

接触信頼性と耐振動性に優れたスプリングクランプ端子を採用した、幅約6mmの薄形インターフェイスリレーです。

機器製品



2015 1 非点火爆発構造LED照明 VMV形発売

爆発性ガスが存在する危険場所の照明環境をエコ化する、長寿命・広使用温度範囲の非点火爆発構造LED照明です。

防爆製品



2015 1 固定式1次元CCDスキャナ WB1F形発売

業界標準品に比べ体積60%減となり、医療分析機器などの小形化に貢献します。

自動認識製品



Topics 2

April 4 May 5 June 6 July 7 August 8 September 9 October 10 November 11 December 12 January 1 February 2 March 3



2014 4 農水省の先端モデル農業確立実証事業に参画

農業生産法人と連携し、「高溶存酸素ファインバブル水」を用いたトマトの活性コントロールによる耕栽培手法確立に取り組んでいます。



Topics 1

2014 5 株式会社コーネットをグループ化

制御ソリューションビジネスを展開する株式会社コーネットおよび株式会社コーネットシステムをグループ会社化しました。



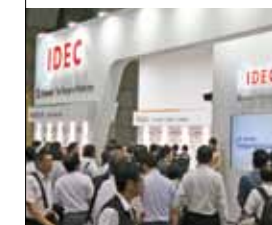
2014 8 台北国際自動化工業大に出展

台湾和泉電気とともに、コーネットの台湾子会社も出展し、制御・安全ソリューションをIDECグループポータルで提案しました。



2014 9 茨木市・大津市に自社太陽光発電施設開設

IDECが発電事業主となり、IDECシステムズ&コントロールズが維持管理する太陽光発電所を、大阪府茨木市と滋賀県大津市に開設しました。



2014 9 自動認識総合展に出展

IDECブランドの浸透を図るとともに、ヘルスケア分野をはじめとする注力分野への取り組みをアピールしました。



2014 11 佐用・IDEC申山太陽光発電所完成

IDECと兵庫県佐用町が出資する有限責任事業組合が事業主体となる5MW規模の太陽光発電所が完成し、発電を開始しました。

Topics 1

## 株式会社コーネットをグループ化

制御ソリューションの技術基盤を持つコーネットグループを子会社化し、生産性向上、省力・省人化、安全環境の実現など、顧客ニーズに対応する最適な制御システム製品の提供やエンジニアリングサービスなどを機動的に行い、制御ソリューションビジネスを一層強化することを狙いとされています。



Topics 2

## 自社開発の自動認識機器製品を発売

IDEC初の自社開発製品となる固定式1次元CCDスキャナ「WB1F形」を発売しました。医療分析装置への組み込みをターゲットとした製品で、圧倒的な小形化を実現したほか、近距離での読み取りが可能で、あらゆる方向に取り付け可能なデザインとするなど、使いやすさにも配慮した製品となっています。



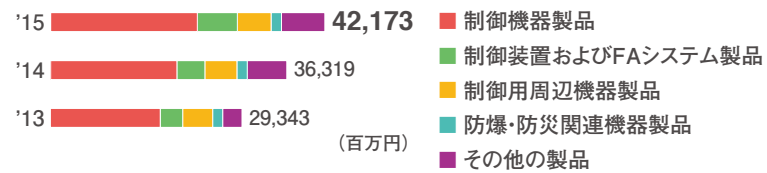


製品別売上高

制御機器製品、制御装置およびFAシステム製品など主力製品群をはじめ環境関連事業も伸長

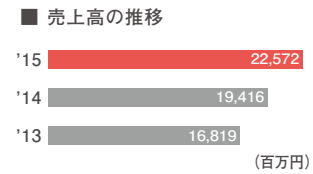
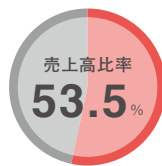
制御用操作スイッチなどの制御機器製品が堅調に推移したほか、新規事業となる自動認識機器製品や環境関連事業が大きく伸長するなど、各製品群で増収を達成しました。

製品別売上高の推移



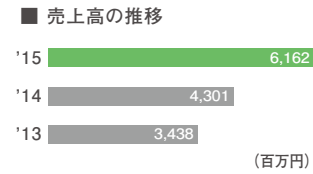
制御機器製品

売上高 **22,572** 百万円  
前期比 **+16.3%**  
制御用操作スイッチや安全関連機器、制御用リレーなどの主力製品の売上が伸長しました。



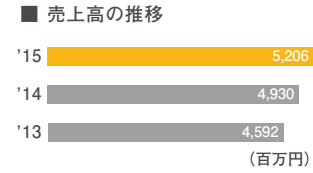
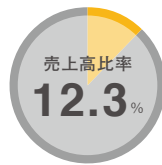
制御装置およびFAシステム製品

売上高 **6,162** 百万円  
前期比 **+43.2%**  
プログラマブルコントローラや、当年度から本格的に事業を開始した自動認識機器製品の売上が伸長しました。



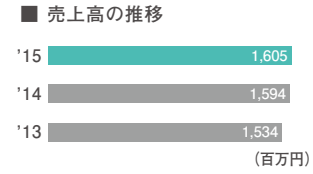
制御用周辺機器製品

売上高 **5,206** 百万円  
前期比 **+5.6%**  
主に国内向け接続機器の端子台や電源機器などの売上が伸長しました。



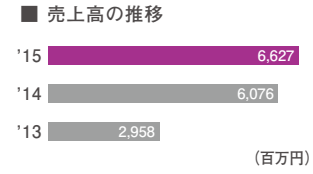
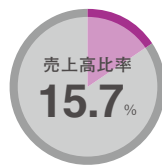
防爆・防災関連機器製品

売上高 **1,605** 百万円  
前期比 **+0.7%**  
国内を中心に、防爆LED照明の売上が伸長しました。



その他の製品

売上高 **6,627** 百万円  
前期比 **+9.1%**  
産業用太陽光発電関連ビジネスなど、環境関連事業の売上が伸長しました。

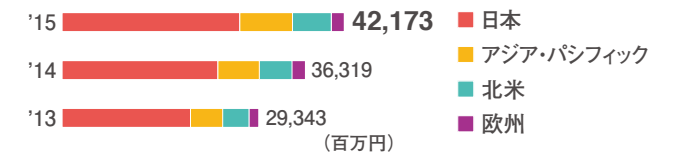


地域別売上高

主力の国内市場をはじめ、北米・アジアなどの地域で増収を達成

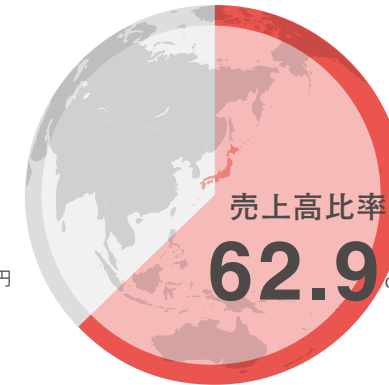
主力の国内市場は、堅調に推移した景気の後押しもあり伸長したほか、海外においても北米や中国を中心とするアジア地域で伸長しました。

地域別売上高の推移

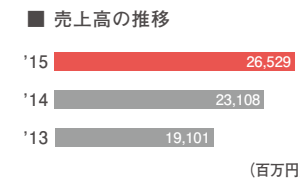


Japan

売上高 **26,529** 百万円  
前期比 **+14.8%**



制御用操作スイッチや安全関連機器などの制御機器製品や、太陽光発電関連ビジネスなど、環境関連事業の売上が伸長しました。

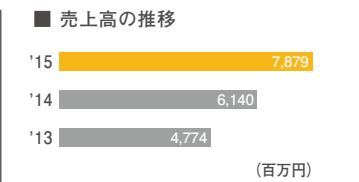


Asia/Pacific

売上高 **7,879** 百万円  
前期比 **+28.3%**



中国地域を中心に制御用操作スイッチや制御用リレーの売上が堅調に推移したほか、プログラマブルコントローラの売上も伸長しました。

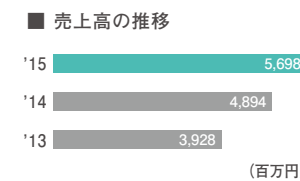


North America

売上高 **5,698** 百万円  
前期比 **+16.4%**

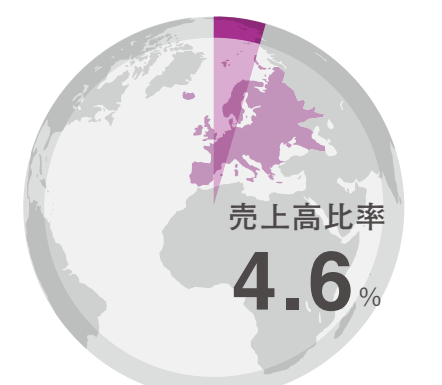


制御用操作スイッチや制御用リレーなどの制御機器製品や、プログラマブルコントローラの売上が伸長しました。

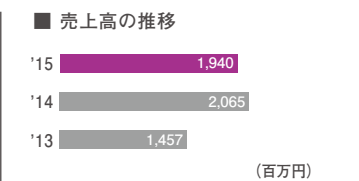


Europe

売上高 **1,940** 百万円  
前期比 **▲6.1%**



制御機器製品が堅調に推移したものの、プログラマブルコントローラの仕向先シフトによる影響を受けました。





## 財務ハイライト

損益状況(3月31日に終了した各会計年度) / Profit and Loss Status (Years ended March 31)	百万円			Thousands of U.S. dollars (注記5)
	2015	2014	2013	2015
売上高 / Net sales	¥42,173	¥36,319	¥29,343	\$350,660
売上総利益 / Gross profit	17,117	15,406	13,062	142,327
販売費及び一般管理費 / Selling, general and administrative expenses	14,207	13,063	11,627	118,127
営業利益 / Operating income	2,910	2,342	1,434	24,200
経常利益 / Ordinary income	3,160	2,482	1,696	26,277
当期純利益 / Net income	2,096	1,456	1,859	17,429
キャッシュ・フロー状況(3月31日に終了した各会計年度) / Cash Flow Status (Years ended March 31)				
営業活動によるキャッシュ・フロー / Net cash provided by (used in) operating activities	1,925	4,633	2,204	16,009
投資活動によるキャッシュ・フロー / Net cash provided by (used in) investing activities	(1,169)	(2,493)	(3,800)	(9,722)
フリー・キャッシュ・フロー(注記2) / Free cash flow	756	2,139	(1,595)	6,286
財務活動によるキャッシュ・フロー / Net cash provided by (used in) financing activities	(891)	(1,929)	1,261	(7,414)
減価償却費 / Depreciation and amortization	1,677	1,699	1,335	13,945
設備投資額 / Capital expenditures	1,761	2,277	5,701	14,642
財務状態(各会計年度末) / Financial Status (As of March 31)				
総資産 / Total assets	49,378	45,778	42,496	410,562
有利子負債(注記3) / Total Interest-bearing liabilities	6,710	6,006	6,939	55,793
自己資本 / Total Shareholders' equity	32,121	28,801	26,958	267,081
1株当たり情報(円/U.S. Dollars) / Per Share Information				
潜在株式調整後当期純利益(EPS) / Earnings per share (EPS) on a diluted basis	69.30	48.99	61.01	0.57
純資産(BPS) / Book value per share (BPS)	1,062.53	959.56	914.98	8.83
配当金(年間) / Cash Dividends per share (annual)	35	30	30	0.29
財務指標等 / Financial Indicators				
自己資本利益率(ROE) / Return on equity (ROE)	6.9%	5.2%	7.0%	6.9%
自己資本比率 / Shareholders' equity ratio	65.1%	62.9%	63.4%	65.1%
流動比率 / Current ratio	170.8%	159.0%	154.1%	170.8%
株主資本配当率(DOE)(注記4) / Dividends on equity (DOE)	3.5%	3.1%	3.4%	3.5%

注記: 1. 本アニュアルレポート中の記載金額は表示単位未満を切り捨て、比率については表示単位未満の端数を四捨五入してそれぞれ表示しています。  
2. フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー  
3. 有利子負債＝短期借入金＋長期借入金  
4. 株主資本配当率(DOE)＝年間配当額÷株主資本  
5. 米ドル表記については、すべて2015年3月31日の実勢レート1米ドル＝120.27円を使用して、海外の読者の便宜のためだけに換算したものです。

## 連結貸借対照表 / Consolidated Balance Sheet

2015年および2014年3月31日現在 / As of March 31, 2015 and 2014		百万円		Thousands of U.S. dollars (注記2)
		2015	2014	2015
資産の部 / Assets	流動資産 / Current assets			
	現金及び預金 / Cash and deposits	7,995	7,743	66,478
	受取手形及び売掛金 / Notes and accounts receivable-trade	6,816	5,919	56,680
	有価証券 / Securities	841	1,133	7,000
	商品及び製品 / Merchandise and finished goods	5,459	3,741	45,392
	仕掛品 / Work in process	1,177	1,138	9,794
	原材料及び貯蔵品 / Raw materials and supplies	2,395	2,677	19,917
	前渡金 / Advance payments-trade	68	154	567
	繰延税金資産 / Deferred tax assets	754	641	6,275
	その他 / Others	744	572	6,187
	貸倒引当金 / Allowance for doubtful accounts	(41)	(39)	(347)
	流動資産合計 / Total current assets	26,212	23,683	217,947
	固定資産 / Noncurrent assets			
	有形固定資産 / Property, plant and equipment			
	建物及び構築物[純額] / Buildings and structures, net	9,056	9,010	75,301
	機械装置及び運搬具[純額] / Machinery, equipment and vehicles, net	1,182	778	9,832
	工具器具及び備品[純額] / Tools, furniture and fixtures, net	842	992	7,008
	土地 / Land	8,254	7,591	68,630
	リース資産[純額] / Lease assets, net	238	244	1,981
	建設仮勘定 / Construction in progress	292	285	2,433
	有形固定資産合計 / Total property, plant and equipment	19,867	18,903	165,188
	無形固定資産 / Intangible assets			
	ソフトウェア / Software	304	392	2,535
	リース資産 / Lease assets	0	3	5
	のれん / Goodwill	426	370	3,549
	その他 / Others	98	85	821
	無形固定資産合計 / Total intangible assets	831	851	6,911
	投資その他の資産 / Investments and other assets			
	投資有価証券 / Investment securities	1,179	857	9,811
	長期貸付金 / Long-term loans receivable	530	603	4,409
	繰延税金資産 / Deferred tax assets	200	416	1,663
	その他 / Others	599	560	4,984
	貸倒引当金 / Allowance for doubtful accounts	(42)	(97)	(355)
	投資その他の資産合計 / Total investments and other assets	2,467	2,339	20,514
	固定資産合計 / Total noncurrent assets	23,165	22,095	192,615
	資産合計 / Total assets	49,378	45,778	410,562
負債の部 / Liabilities	流動負債 / Current liabilities			
	支払手形及び買掛金 / Notes and accounts payable-trade	3,280	4,373	27,276
	電子記録債務 / Electronically recorded obligations-operating	1,359	—	11,303
	短期借入金 / Short-term loans payable	6,310	5,897	52,465
	1年内返済予定の長期借入金 / Current portion of long-term loans payable	192	83	1,596
	リース債務 / Lease obligations	100	127	836
	未払法人税等 / Income taxes payable	674	293	5,606
	未払金 / Accounts payable-other	931	773	7,742
	未払費用 / Accrued expenses	1,540	1,465	12,808
	前受金 / Advances received	92	873	769
	預り金 / Deposits received	678	733	5,642
	その他 / Others	185	272	1,540
	流動負債合計 / Total current liabilities	15,345	14,893	127,588
	固定負債 / Noncurrent liabilities			
	社債 / Bonds payable	50	—	415
	長期借入金 / Long-term loans payable	208	25	1,731
	リース債務 / Lease obligations	155	132	1,294
	退職給付に係る負債 / Net defined benefit liability	1,035	1,435	8,613
	役員退職慰労引当金 / Provision for directors' retirement benefits	68	57	567
	資産除去債務 / Asset retirement obligations	88	66	734
	長期未払金 / Long-term accounts payable-other	77	138	641
	その他 / Others	3	—	31
	固定負債合計 / Total noncurrent liabilities	1,687	1,856	14,029
	負債合計 / Total liabilities	17,032	16,749	141,618
純資産の部 / Net assets	株主資本 / Shareholders' equity			
	資本金 / Capital stock	10,056	10,056	83,616
	資本剰余金 / Capital surplus	9,721	9,722	80,831
	利益剰余金 / Retained earnings	17,587	16,139	146,230
	自己株式 / Treasury stock	(6,859)	(7,045)	(57,032)
	株主資本合計 / Total shareholders' equity	30,506	28,873	253,646
	その他の包括利益累計額 / Accumulated other comprehensive income			
	その他有価証券評価差額金 / Valuation difference on available-for-sale securities	295	117	2,461
	為替換算調整勘定 / Foreign currency translation adjustment	1,389	(72)	11,550
	退職給付に係る調整累計額 / Remeasurements of defined benefit plans	(69)	(117)	(576)
	その他の包括利益累計額合計 / Total accumulated other comprehensive income	1,615	(72)	13,435
	新株予約権 / Subscription rights to shares	14	61	117
	少数株主持分 / Minority interests	209	166	1,743
	純資産合計 / Total net assets	32,345	29,029	268,943
	負債純資産合計 / Total liabilities and net assets	49,378	45,778	410,562

注記: 1. 本アニュアルレポートの作成にあたっては、連結株主資本等変動計算書および注記事項は省略しておりますので、詳細については、金融庁の「EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)」を通じて開示している有価証券報告書をご確認ください。  
2. また、P26-28の連結財務諸表に記載の米ドル表記については、すべて2015年3月31日の実勢レート1米ドル＝120.27円を使用して、海外の読者の便宜のためだけに換算したものです。



## 連結損益計算書／Consolidated Statement of income

3月31日に終了した各会計年度／Years ended March 31	百万円		Thousands of U.S. dollars (注記2)
	2015	2014	2015
売上高／Net sales	42,173	36,319	350,660
売上原価／Cost of sales	25,056	20,913	208,333
売上総利益／Gross profit	17,117	15,406	142,327
販売費及び一般管理費／Selling, general and administrative expenses	14,207	13,063	118,127
営業利益／Operating income	2,910	2,342	24,200
営業外収益／Non-operating income			
受取利息／Interest income	28	22	240
受取配当金／Dividends income	15	16	124
持分法による投資利益／Equity in earnings of affiliates	—	8	—
為替差益／Foreign exchange gains	231	103	1,921
受取賃料／Rent income	108	97	898
その他／Others	101	90	844
営業外収益合計／Total non-operating income	484	338	4,030
営業外費用／Non-operating expenses			
支払利息／Interest expenses	45	59	382
持分法による投資損失／Equity in losses of affiliates	7	—	64
減価償却費／Depreciation	74	94	621
支払補償費／Compensation expenses	26	—	222
その他／Others	79	44	662
営業外費用合計／Total non-operating expenses	234	198	1,952
経常利益／Ordinary income	3,160	2,482	26,277
特別利益／Extraordinary income			
固定資産売却益／Gain on sales of noncurrent assets	3	7	30
負のれん発生益／Gain on bargain purchase	—	15	—
退職給付制度終了益／Gain on abolishment of retirement benefit plan	—	101	—
新株予約権戻入益／Gain on reversal of subscription rights to shares	26	—	218
特別利益合計／Total extraordinary income	29	123	249
特別損失／Extraordinary loss			
段階取得に係る差損／Loss on step acquisitions	—	8	—
固定資産売却損／Loss on sales of noncurrent assets	2	11	22
減損損失／Impairment loss	30	211	249
固定資産廃棄損／Loss on abandonment of noncurrent assets	1	24	14
特別損失合計／Total extraordinary loss	34	255	286
税金等調整前当期純利益／Income before income taxes and other adjustments	3,155	2,350	26,240
法人税、住民税及び事業税／Income taxes-current	1,110	811	9,235
法人税等調整額／Income taxes-deferred	(71)	67	(591)
法人税等合計／Total income taxes	1,039	878	8,644
少数株主損益調整前当期純利益／Income before minority interests	2,116	1,471	17,596
少数株主利益／Minority interests in income	20	15	166
当期純利益／Net income	2,096	1,456	17,429

## 連結キャッシュ・フロー計算書／Consolidated Statement of Cash Flow

3月31日に終了した各会計年度／Years ended March 31	百万円		Thousands of U.S. dollars (注記2)
	2015	2014	2015
営業活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) operating activities			
税金等調整前当期純利益／Income before income taxes and other adjustments	3,155	2,350	26,240
減価償却費／Depreciation and amortization	1,677	1,699	13,945
減損損失／Impairment loss	30	211	249
のれん償却額／Amortization of goodwill	59	9	495
負のれん発生益／Gain on bargain purchase	—	(15)	—
貸倒引当金の増減額〔( )は減少〕／Increase (decrease) in allowance for doubtful accounts	(59)	(4)	(490)
退職給付に係る負債の増減額〔( )は減少〕／Increase (decrease) in net defined benefit liability	45	(347)	376
受取利息及び受取配当金／Interest and dividends income	(43)	(38)	(365)
支払利息／Interest expenses	45	59	382
為替差損益〔( )は益〕／Foreign exchange losses (gains)	(18)	(1)	(153)
持分法による投資損益〔( )は益〕／Equity in (earnings) losses of affiliates	7	(8)	64
固定資産売却損益〔( )は益〕／Loss (gain) on sales of noncurrent assets	(0)	3	(7)
固定資産廃棄損／Loss on abandonment of noncurrent assets	1	24	14
売上債権の増減額〔( )は増加〕／Decrease (increase) in notes and accounts receivable-trade	69	274	581
たな卸資産の増減額〔( )は増加〕／Decrease (increase) in inventories	(754)	(484)	(6,270)
前受金の増減額〔( )は減少〕／Increase (decrease) in advances received	(780)	831	(6,490)
未収入金の増減額〔( )は増加〕／Decrease (increase) in accounts receivable	24	59	202
仕入債務の増減額〔( )は減少〕／Increase (decrease) in notes and accounts payable-trade	(719)	782	(5,983)
未払金の増減額〔( )は減少〕／Increase (decrease) in accounts payable-other	116	165	964
未払費用の増減額〔( )は減少〕／Increase (decrease) in accrued expenses	5	63	48
預り金の増減額〔( )は減少〕／Increase (decrease) in deposits received	(57)	(218)	(479)
長期未払金の増減額〔( )は減少〕／Increase (decrease) in long-term accounts payable-other	(61)	134	(508)
その他／Others	(45)	142	(380)
小計／Subtotal	2,698	5,694	22,434
利息及び配当金の受取額／Interest and dividends income received	43	38	362
利息の支払額／Interest expenses paid	(53)	(61)	(442)
法人税等の支払額／Income taxes paid	(763)	(1,037)	(6,344)
営業活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) operating activities	1,925	4,633	16,009
投資活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) investing activities			
有価証券の取得による支出／Purchase of short-term investment securities	—	(1,103)	—
有価証券の売却による収入／Proceeds from sales of short-term investment	441	—	3,667
有形固定資産の取得による支出／Purchase of property, plant and equipment	(1,375)	(1,927)	(11,434)
有形固定資産の売却による収入／Proceeds from sales of property, plant and equipment	22	1,404	190
無形固定資産の取得による支出／Purchase of intangible assets	(154)	(242)	(1,282)
投資有価証券の取得による支出／Purchase of investment securities	—	(0)	—
投資有価証券の売却による収入／Proceeds from sales of investment in securities	6	0	56
長期貸付による支出／Payments of long-term loans receivable	(22)	(600)	(186)
長期貸付金の回収による収入／Collection of long-term loans receivable	24	3	201
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出／Purchase of investments in subsidiaries resulting in change in scope of consolidation	(122)	(7)	(1,019)
その他／Others	10	(19)	83
投資活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) investing activities	(1,169)	(2,493)	(9,722)
財務活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) financing activities			
短期借入金の純増減額〔( )は減少〕／Net increase (decrease) in short-term loans payable	214	(800)	1,783
長期借入金の返済による支出／Repayment of long-term loans payable	(213)	(133)	(1,772)
自己株式の取得による支出／Purchase of treasury stock	(0)	(0)	(4)
ストックオプションの行使による収入／Proceeds from exercise of stock option	157	53	1,310
配当金の支払額／Cash dividends paid	(900)	(884)	(7,489)
少数株主への配当金の支払額／Cash dividends paid to minority shareholders	(1)	(1)	(12)
リース債務の返済による支出／Repayments of lease obligations	(147)	(163)	(1,228)
財務活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) financing activities	(891)	(1,929)	(7,414)
現金及び現金同等物に係る換算差額／Effect of exchange rate change on cash and cash equivalents	387	339	3,224
現金及び現金同等物の増減額〔( )は減少〕／Net increase (decrease) in cash and cash equivalents	252	549	2,096
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額／Increase in cash and cash equivalents from newly consolidated subsidiary	—	162	—
現金及び現金同等物の期首残高／Cash and cash equivalents at beginning of year	7,743	7,031	64,382
現金及び現金同等物の期末残高／Cash and cash equivalents at end of year	7,995	7,743	66,478



# CSR Report

IDECグループは、創業以来、「社員すべてが人間性を尊重しつつ企業の発展を通じて社会経済に貢献し、人生に意義あらしめるにある」という企業目標のもと、CSR活動に取り組んできました。とりわけ、長年の安全機器製品の開発実績に基づく「安全の普及」と、環境事業を中心とする「地球環境保護への貢献」をその活動の中心に据え、グループ行動基準、国連グローバル・コンパクトの10原則に基づき、事業活動を通じた社会貢献に積極的に取り組んでいます。

IDECグループのCSR活動の詳細は、WEBサイトでご覧いただけます  
<http://jp.idec.com/ja/about/IDEC/csr>



## 国連グローバル・コンパクトの10原則

### 【人権】企業は、

- 1：国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
- 2：自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

### 【労働基準】企業は、

- 3：組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、
- 4：あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
- 5：児童労働の実効的な廃止を支持し、
- 6：雇用と職業における差別的撤廃を支持すべきである。

### 【環境】企業は、

- 7：環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
- 8：環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
- 9：環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

### 【腐敗防止】企業は、

- 10：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

※国連グローバル・コンパクトとは、「企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会のよき一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組み」です。

## 【安全への取り組み】

### 「安全性」と「生産性」を高いレベルで両立させるために。

## 【安全基本方針】

IDECグループは、「人間性尊重経営」を前提として、「企業活動を通じて社会・経済に貢献する」という経営の基本方針に基づき、IDECグループだけでなくグローバル社会での安全で快適な環境づくりのため、すべての事業活動において常により高い安全性の実現を目指します。



### ■2015年3月期開発 安全・防爆機器製品

#### 安全スイッチ HS5L形

最新の機械類向け国際安全規格に適合した、取り付けスペースが小さな小型ソレノイド付安全スイッチです。中小形機械に導入していただくことで、安全な機械装置としての製品価値を高めます。

#### 耐圧防爆構造LED照明 EF1A形

防爆国際規格のIECEx、欧州規格ATEX、北米規格UL・cULを認証取得し、グローバルベースでご使用いただけます。



HS5L形



EF1A形

お客さまに導入していただきやすい安全機器を開発します

#### 安井 武夫

機器製品事業部  
企画部



### ■安全なものづくりのご提案

#### 安全コンサルティングの実施

産業現場における危険源の特定、リスクの評価、低減方策の立案・実施など、安全性と生産性の両立を目指した安全コンサルティングを実施しています。

#### 防爆安全に関する書籍を発売

最新の国際規格に基づく防爆電気機器の安全設計から、設置や工事、点検保守に至るまでエンジニアリングも含めた防爆電気機器の安全に関する技術インテリジェンスを公開、解説しています。



産業安全の向上を目指し、社内外へ安全知識を普及していきます

#### 岡田 和也


国際標準化・知財推進センター  
安全・標準化推進グループ

### ■「安全をつくる」プロの育成


#### セーフティアセッサ有資格者の育成


社員のセーフティアセッサ資格<sup>※</sup>の取得を推進し、安全製品の開発・普及やコンサルティングにおいて安全性の妥当性を適切に判断できる人材を育成しています。2015年3月31日現在のグループ全体での有資格者は352名となりました。

#### 当社資格保有者数

 **セーフティリードアセッサ→15名**  
【第三者として安全性の妥当性を判断する総合力がある】

 **セーフティアセッサ→35名**  
【安全性の妥当性を判断する総合力がある】

 **セーフティサブアセッサ→155名**  
【安全性の妥当性確認に必要とされる基礎知識・能力がある】

 **セーフティベーシックアセッサ→147名**  
【機械運用安全または防爆電気機器安全の基礎知識を有する】

※セーフティアセッサ資格とは、日本認証(株)、(一社)日本電気制御機器工業会、安全技術応用研究会、テュフラインランド ジャパン(株)の連携によって制度化された、機械安全の知識と能力を認定する資格制度です。

### ■「安全」の啓発活動

#### セミナー、講演会の実施

産業事故削減への貢献を目指し、「ものづくり安全セミナー」、「防爆安全セミナー」を開催しています。2015年3月期は全国で81回のセミナーを開催し、1,386名の方に参加いただき、累計受講者数は32,892名となりました。



防爆安全に関する講演会の様子



[ 地球環境保護への取り組み ]

事業を通じてお客さまの、  
そして社会の環境向上に寄与する。

【環境基本方針】

私たちは、地球環境と企業運営の関係において、地球との共生が人類共通の願いであることを認識し、事業活動のすべての面で、環境の保全を最重要課題として行動し、持続可能な発展を目指します。



■地球環境保護につながるIDECの事業展開

メガソーラー事業

電力・省エネ問題への貢献を目指し、産業用太陽光発電事業を展開しています。2015年3月期は大阪府茨木市と滋賀県大津市、兵庫県尼崎市に自社発電施設、兵庫県佐用郡佐用町に佐用町との共同事業となる発電施設を相次いで完成させました。IDECグループとして産業用太陽光発電設備に関する“供給者＆発電事業者”となることで、地球環境保全や地域社会の発展に貢献します。



佐用・IDEC 申山太陽光発電所 再利用可能な木製の架台を使用

メガソーラーを通じ、地球環境、  
地域社会に貢献します

永田 剛  
IDECシステムズ&コントロールズ株式会社  
環境エネルギー事業統括部  
エンジニアリング事業部  
技術部

■IDECグループ開発ポリシー、評価基準

「省」の思想に基づいた製品開発活動

IDECグループでは、1978年の製品開発ポリシーの制定以来、製品開発における基本思想として、「省」に基づく最適制御の実現を掲げています。省エネルギー・省スペース・省メンテナンス・省資源など、あらゆる「省」の思想は現在も変わらず、独自の設計審査基準に基づいた新しい環境配慮型製品の開発に継続的に取り組んでいます。

環境配慮型製品の設計審査基準

配慮要素	製品構造
再利用 再資源化	再資源化容易性
	解体容易性
	廃棄処理容易性
省資源 省エネルギー	減容化・軽量化
	消費電力削減
	長期使用対応
環境安全性	規制化学物質不使用

[ 品質への取り組み ]

全員で考え、全員で挑戦する。  
「品質」はすべての企業活動の基本である。

【品質基本方針】

当社が目標とする品質を「使いやすさ」におき、ユーザーに安心して購入し満足して使用していただける優れた製品と、これを最も経済的に作り出す技術を確認するため、全員で考え全員で挑戦する品質保証体制を築き、「品質のIDEC」を実現する。



■品質保証体制

品質保証部門を中心とした保証体制を構築しています。

■IDEC品質保証センター

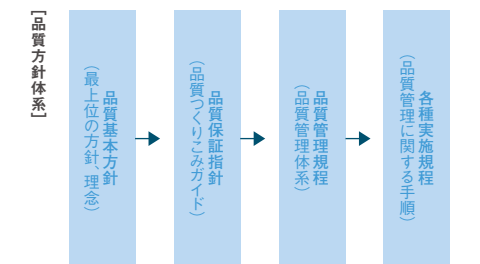
- グローバル品質保証 担当**  
全社的な品質基準・ルールの制定、管理
- 生産品質保証 担当**  
社外クレーム対応、ルール遵守状況の監査
- 評価試験 担当**  
製品の評価解析、クレーム解析による要因特定
- 規格管理 担当**  
製品・生産事業所の規格認証の取得、維持、監査

全社一丸となって  
「品質のIDEC」を実現します

松本 敦  
品質保証センター 部長

■品質保証指針

IDECの「品質基本方針」は「製品の価値を品質におく」ことを基本姿勢とし、これを堅持・完遂するという精神を謳っています。この品質基本方針に基づき、お客さまが必要とする期間、信頼しかつ十分に満足して、使用し続けられる品質の製品を提供するため、各段階において組織的に実行すべき品質保証活動の指針を定めています。



■環境マネジメントシステム

IDECグループは、1997年度にJQA((一財)日本品質保証機構)の審査を経て、本社／技術研究センターなどにおいてISO14001の認証を取得しています。現在は、本社／技術研究センター、筑波、福崎(滝野を含む)、尼崎の各事業所において、認証を取得しています。2015年3月期の外部審査結果、改善指摘はありませんでした。なお、環境関連法規に関する違反もありませんでした。



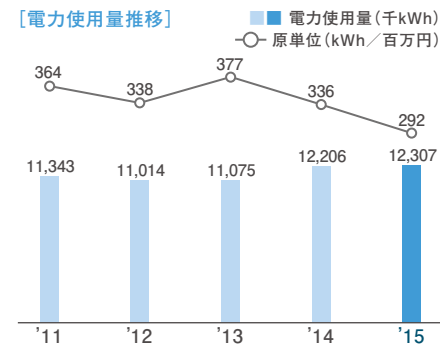
本社／技術研究センター 筑波事業所

生産現場での環境負荷低減に  
取り組んでいます

西山 理史  
尼崎事業所  
総務担当

■環境負荷低減活動

ISO14001環境マネジメントシステムに基づき年間の目標を定め、電力使用量、水使用量、紙使用量、廃棄物量、CO2排出量の削減に全社をあげて取り組んでいます。



※原単位は各年度の売上高あたりの使用量です。  
※データ集計範囲は、本社／技術研究センター、筑波事業所、尼崎事業所、浜松事業所、福崎事業所、滝野事業所、電野物流センターです。  
※その他の環境パフォーマンス推移はウェブサイトをご覧ください。



■品質教育

品質向上の意識徹底と品質管理手法の習得を目的とした社内品質教育を継続的に実施し、学習成果の確認として公的資格(品質管理検定)の受験を推奨しています。習得した考え方や手法を実際のQCサークル活動で実践し、品質の向上やクレームの削減に取り組んでいます。

継続的な品質教育により  
品質意識の向上を図ります

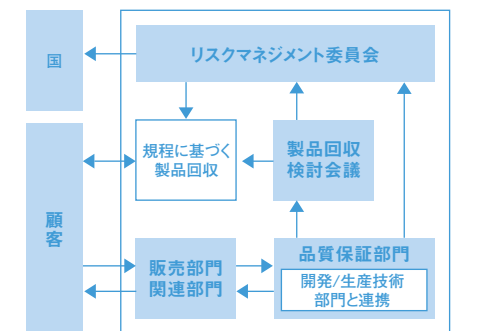
牧本 茂樹  
品質保証センター  
グローバル品質保証グループ



社内品質教育研修

■クレーム対応体制

IDECグループのクレーム対応は、代表取締役社長を委員長とするリスクマネジメント委員会での最終的な意思決定の構造を前提とすうえで、品質保証部門を中心としながら、開発部門・生産技術部門が連携して原因の特定を図り、各機能による情報共有を密にしながら連携し迅速に対応できる体制を構築しています。



[ 人権・従業員への取り組み ]

# 一人ひとりの人生にとって、 IDECが実り多い職場であるために。

【HR基本方針】

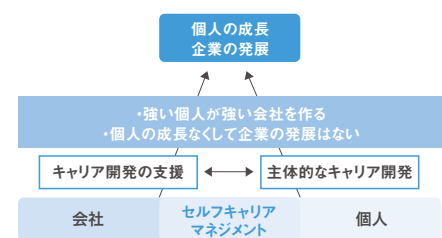
(HR: Human Resource)

人事施策を展開するにあたっては、その根底に「人間性尊重」の精神をもって行い、人材が育つ風土を確立する。経営基本方針の意図・内容を十分に理解し、それを実践・体現することによって、個々の使命・責任を果たすことのできる人材を育成する。



■人材育成

社員自らが作成するキャリアプランに沿った学習や経験ができるよう、体系的な研修とキャリアローテーションを実施し、個人のキャリア開発を支援しています。特に、次の時代を担う幹部候補生育成のため、マネジメントなどの基本スキルから応用実践力までを身につける育成プログラムの実施と、部門横断的な「モデルキャリアパス」に沿ったローテーションによる幅広い業務知識と経験が習得できる仕組みを整えています。

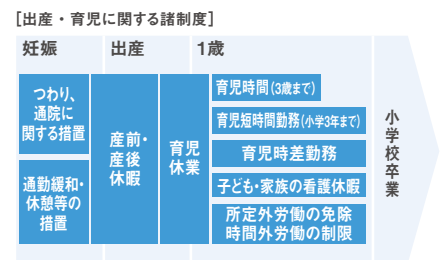


教育機会の提供を通じ、  
個人としての成長を支援しています

藤田 昇子  
HR部  
人材開発グループ

■ワーク・ライフ・バランスの推進

育児や介護をしながら働いている社員を皆で支え合う制度を充実させ、すべての社員が安心して働ける基盤を整えるため、2013年3月期より育児と介護のための短時間勤務の対象範囲を拡大しました。仕事と家庭の両立を支援し、生きがい、働きがいを感じられる職場環境づくりに取り組んでいます。



■ダイバーシティの推進

一人ひとりの個性や違いなどその多様性を受け入れ、個々の能力を最大限発揮できる職場環境を目指し、IDECグループとしてダイバーシティを推進しています。IDECロジスティクスサービス株式会社では「兵庫県障害者就労応援企業」の登録を受け、積極的に障がい者の雇用と定着に取り組むとともに、外国人技能実習生として外国籍の従業員を受け入れ、技能並びに日本語、日本文化の習得をフォローしながら就業を支援しています。2015年3月31日現在は15名の障がい者(障がい者雇用率9%)、3名の外国籍従業員が就業しています。



外国人技能実習生として就業するベトナム人従業員

多様な人材の受け入れを  
積極的に推進しています

三宅 智之  
IDECロジスティクスサービス株式会社  
取締役  
電野事業所 所長

■安全な職場環境の実現

労働災害と健康障害を防止するため、労働安全衛生に関する法令を遵守し、安全衛生管理体制および災害防止基準を確立して、自主的・計画的な活動を推進し、安全で健康的な職場環境の維持に努めています。とりわけ、職場における危険性または有害性を調査し、その結果に基づいて従業員の危険または健康障害を防止するための措置を講じるリスクアセスメントと、従業員一人ひとりが個々の能力を充分発揮できるように、心のケアに関する教育研修の実施、相談体制の整備、職場復帰の支援などのメンタルヘルスケアに重点的に取り組んでいます。

[ コーポレートガバナンス/コンプライアンス ]

# より透明に。より効率良く。 信頼される企業であり続けるために。

【経営基本方針】

IDECグループは、「人間性尊重経営」のもと、「企業活動を通じて社会・経済に貢献することを経営の基本とし、「制御技術を駆使して顧客のニーズに応え、社会に貢献していく」という活動により、当社グループに関わる人々の幸福を実現していくため、ガラス張り経営を貫き、健全な経営体制を構築することを目指します。



■ガバナンス体制

1998年より執行役員制度を導入し、経営の業務執行機能と監督機能の分離を図り、効率的な経営を目指しています。また、社外取締役や社外監査役を積極的に選任、任用し、業務執行に対する監督・監査機能を強化しています。

■グローバルアドバイザリーボード

事業運営に資する幅広いご意見・ご助言を得るため、社外取締役や企業経営者など国内外の有識者からなるグローバルアドバイザリーボードを設置しています。

ボードメンバーのRomano Volta 氏  
イタリアにおいて、工業オートメーション用  
光電装置などの分野で世界的リーディング  
カンパニーとなるDATALOGIC社を創業。



■コンプライアンス

職務を行ううえで基本的な考え方や行動の指針を「行動基準」にまとめ、国内外グループ会社を含め広く従業員に配布しています。また新入社員から管理職まで入社年数や職責・階層に応じた研修体系を整備し、定期的な研修を実施しています。2015年3月期には内部通報関連規程、ハラスメント関連規程の見直しにともない、行動基準の補訂版を配布し、周知しています。



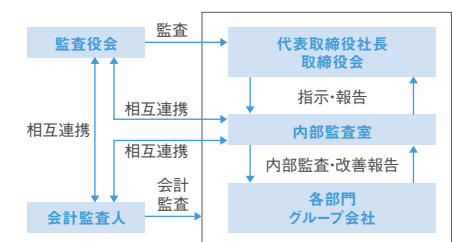
経営の透明性と効率性を確保することが、  
コーポレートガバナンスの基本と考えています

藤田 慶二郎  
取締役 内部統制統括担当



■監査体制

経営目標達成への貢献を目的に、合法性と効率性の観点から、公正かつ独立的な立場で経営諸活動の状況の評価・支援を行っています。重点取り組み事項として、リスクのマネジメント、コントロールおよび組織体のガバナンスプロセスの有効性の評価改善提案とその支援を行っています。また、IDECグループの財務報告の信頼性確保にかかわる内部統制の整備運用状況について、独立した視点で評価を実施しています。

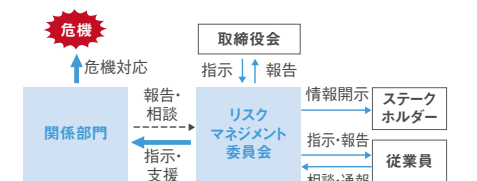


独立した立場と客観的な視点で、  
経営活動の評価・支援を行っています

松田 恭雄  
内部監査室 室長

■リスクマネジメント

危機発生時の回避と、万一危機が発生した際の被害を最小限に抑えるために、「危機管理規程」を制定し、代表取締役社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を設置して、平常時のリスク防止と、危機の発生時における迅速な対応がとれる体制を整えています。また、危機発生時の初動対応の一環として、安否確認システムを導入しています。





[役員紹介]

健全かつ透明性の高い、  
効率的な経営の実現を目指しています。

IDECは社外取締役、社外監査役を積極的に任用するとともに、  
経営の監督機能と執行機能の分離を行い、  
常に経営の透明性と効率性を重視した経営を行っております。

取締役 代表取締役会長兼社長  
代表取締役専務  
取締役  
社外取締役  
社外取締役  
社外取締役

船木 俊之  
船木 幹雄  
藤田 慶二郎  
中川 剛 (株)東芝 社友  
八田 信男  
山本 卓二

監査役 常勤監査役  
社外監査役  
社外監査役  
社外監査役

古川 正行  
谷口 弘一  
阪本 政敬  
川人 正孝

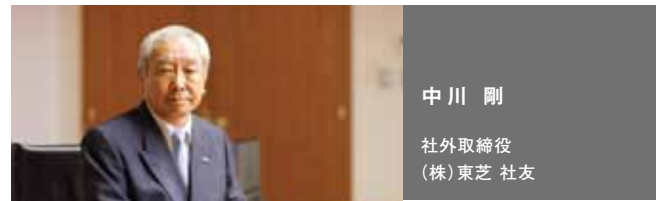
執行役員 常務執行役員 技術戦略担当  
常務執行役員 品質保証担当  
常務執行役員 セールス・マーケティング担当  
常務執行役員 海外事業開発担当  
執行役員 機器製品事業担当  
執行役員 生産・SCM統括担当  
執行役員 国内営業担当  
執行役員 HR担当  
執行役員 経営管理担当

藤田 俊弘  
北山 英幸  
アルノ・モンディ  
ビート・タランティーノ  
河中 泰治  
丸山 泰治  
多田 映一  
三笠 洋補  
西山 嘉彦

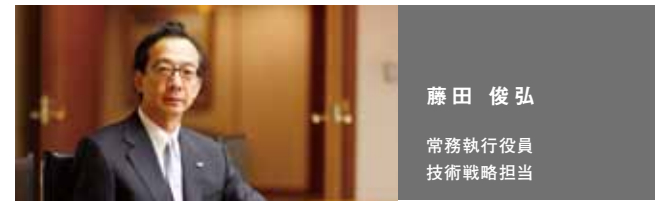
[取締役]



[社外取締役]



[執行役員]

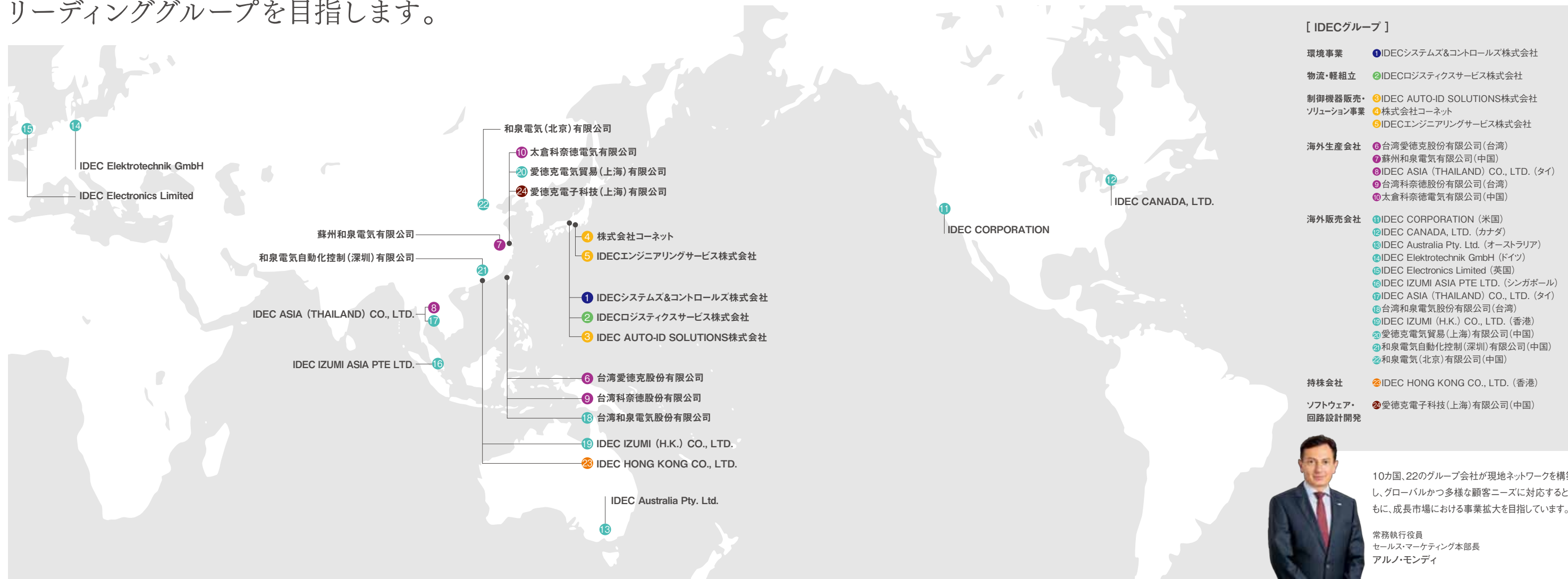


[顧問]



[グローバル体制]

グローバルに進化する制御機器業界のリーディンググループを目指します。



[ Message from IDEC Group ]

Japan                      Asia / Pacific                      North America                      Europe



情熱・アイデア・実行

国内営業統括部  
オートメーション営業部 部長  
河合 栄二



Innovation through customer focus

セールスマーケティング本部  
海外事業推進室 室長  
船木 崇雄



動いてから考える。

台湾愛徳克股份有限公司  
総経理  
大園 俊一



挑戦!

愛徳克電子科技(上海)有限公司  
総経理  
松本 博貴



お客様の立場で考え  
WIN-WINの実現!

IDEC ASIA (THAILAND) CO., LTD.  
Director  
車 泰尚



Re-engineer, Re-structure, execute.

IDEC CORPORATION  
Director of Sales  
Rajiv Salhotra



The FUN of WINNING  
more AUTOMATED

IDEC CORPORATION  
Sales Manager  
Elias El-Ters



Satisfying customer's special  
requirements makes our business grow.

IDEC Elektrotechnik GmbH  
Operations Manager  
Frank Lisker



# IDECの歴史

IDECグループの歴史は、終戦間もない1945年の11月に、大阪・道修町の一角に電気製品製造販売の「和泉商会」を創業したことに始まります。  
和をもって人の力を結集させ、常に汲めども尽きない泉のように素晴らしいアイデアが湧き出し、発展を続ける企業になろう・・・、それが「和泉」という社名に込められた願いです。

[ シンボルマークの変遷 ]

**IZUMI**

[ 沿革 ]



■1945年 和泉商会創業  
電気機器の小売、卸売業開始

■1947年 和泉電気(株)設立  
開閉器の生産、販売開始

■大阪事業所(大阪市淀川区)完成

■工業用操作スイッチ、表示灯、端子台などの生産、販売開始



■三国工場の建替工事完成  
■京都事業所(長岡京市)完成



■発起人の1社として日本電気制御機器工業会(NECA)設立



■台湾和泉精機股份有限公司  
(現台湾愛徳克股份有限公司)設立

■IDEC CORPORATION(米国)設立

■IDEC Elektrotechnik GmbH  
(ドイツ ハンブルグ)設立



■ドイツ・ハノーバーメッセに出展

**idec**

■CI導入「IDEC」商標決定 英文社名変更  
■大阪証券取引所市場第2部に株式を上場



■福岡事業所(兵庫県)完成

■本社事務所(大阪市淀川区)設置  
本社機構を移転

■IDEC Electronics Limited  
(英国)設立

■東京証券取引所市場  
第2部に株式を上場

■滝野事業所(兵庫県)完成

■東京、大阪証券取引所市場第1部に指定替え

■筑波事業所完成  
(茨城県)



■台湾和泉電気股份有限公司設立

■アイデック技術研究センター  
(大阪市淀川区)開設

■香港和泉電気有限公司設立

■竜野物流センター(兵庫県)完成

■東京本社(東京都港区)開設

**IDEC**

■IDEC IZUMI ASIA PTE LTD.  
(シンガポール)設立

■蘇州和泉電気有限公司設立

■愛徳克電気貿易(上海)有限公司設立



■社名・コーポレートシンボルマーク変更  
IDEC Beyond Forum開催

■和泉電気自動化制御(深圳)有限公司設立

■和泉電気(北京)有限公司設立



■IDEC ASIA(THAILAND)CO., LTD.設立



■新本社(大阪市淀川区)完成

■尼崎事業所(兵庫県)完成

■IDEC DATALOGIC(株)を完全子会社化  
商号をIDEC AUTO-ID SOLUTIONS(株)に変更

■愛徳克電子科技(上海)  
有限公司設立

■(株)コーネット(愛知県)を  
完全子会社化

1940

1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

[ 時代の動向 ]

## ● 戦後復興の時代、 高品質の開閉器が求められた

1945年に創業した和泉商会は、当時機械設備などに欠かせない各種開閉器が不足していたことに着目し、高品質の開閉器を開発。産業界からの高い評価を受け、規格に厳しい駐留米軍の指定品となった。また、繊維・化学工場、石油コンビナートなどで使用される防爆防災機器製品の製造販売を行うなど、戦後復興のものづくりを支えた。



画期的な速入速断機能を備え、ヒット製品となったSB形金属箱開閉器



押ボタンスイッチ、表示灯などのユニットを防爆構造のボックスに収納した、防爆形コントロールボックス

## ● 高度成長を支える影の主役、 制御機器の総合メーカーに

1950年～60年代、工場設備の自動化・機械化の進展にともない、設備や装置を最適な状態になるように制御するための、計測・制御技術のニーズが高まってきた。そのため、これらの装置やシステムに欠かせない制御機器製品を独自の技術で製造・販売を始め、日本の経済発展を影で支えた。



操作性、デザイン性、安全性に優れ、ロングセラーとなった小形コントロールユニット



小形マシンの制御専用開発した超小形コントローラ

## ● 人と機械の共存を支える安全機器に 高い価値が認められた

産業用ロボットを使ったオートメーション設備をはじめとする、人と機械が共存するHMI(Human Machine Interface)環境では、生産性と人の安全性に配慮した機械類や設備の構築が必要になってきた。



豊富な安全機器で安全回路のシステムソリューションを提案



高輝度LEDバックライト採用で視認性に優れたプログラマブル表示器

## ● 持続可能な社会のために、新たな展開へ

CO<sub>2</sub>排出量拡大による環境問題や人口増加による食糧問題などに対して、IDECが培ってきた技術を活かし、LEDや再生可能エネルギーの普及促進、そして農業の自動化への取り組みを推進している。



植物工場の照明・温度・水質などを簡単に制御できるコントローラ



食料・農業問題を解決するため農業プラント分野に進出

## 会社情報

会社概要	
【社名】	IDEC株式会社
【英文社名】	IDEC CORPORATION
【設立】	1947年3月26日
【資本金】	10,056,605,173円
【従業員数】	連結2,109名(2015年3月31日現在) ※特定社員・臨時社員含まず
【上場取引所】	東京証券取引所市場第1部
【本社/技術研究センター】	〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号 電話:06-6398-2500(代表)
【東京本社】	〒108-6014 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟14階) 電話:03-5782-7690(代表)
【事業所】	筑波、尼崎、福岡、滝野、浜松
【営業所】	仙台、高崎、大宮、水戸、東京、多摩、横浜、長野、新潟、 富山、金沢、浜松、名古屋、京都、大阪、岡山、福山、 広島、四国、福岡
【物流センター】	竜野



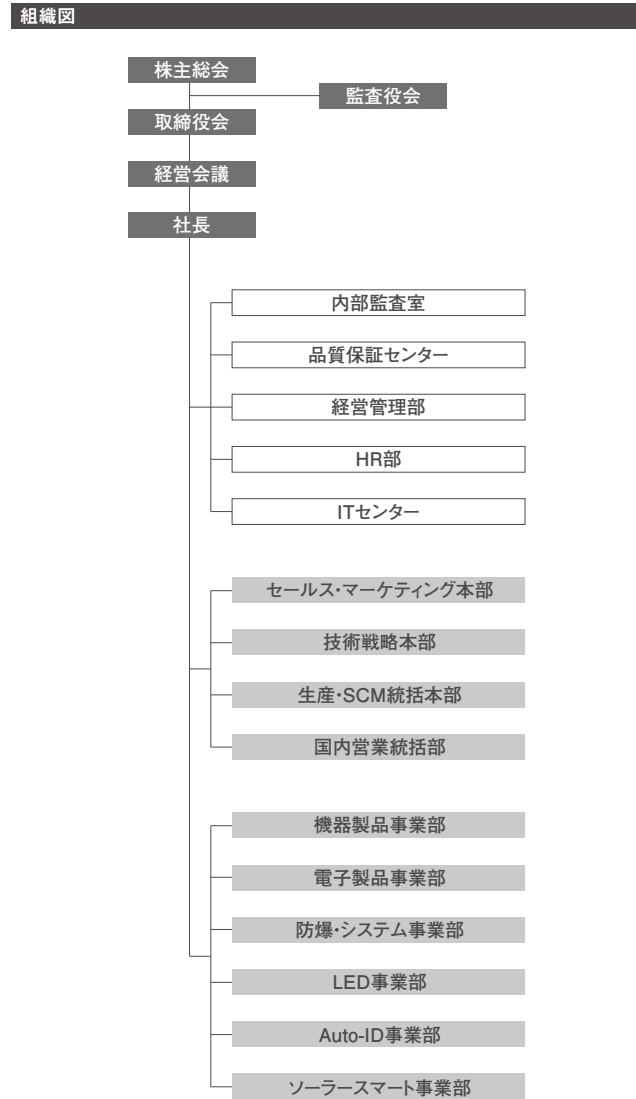
本社

東京本社



尼崎事業所

滝野事業所



## IDECロゴ・ショルダーフレイズ



Think Automation and beyond...

### コーポレートシンボルに込められるメッセージ

コーポレートシンボルには、「社員同士や取引先・社会など、さまざまなステージでの人と人とのつながり、発想の転換」、「事業領域の拡大・未来への成長、全てにおいて一歩先を進む」のメッセージが込められています。

白抜き「I」とすぐ右隣に隣接しているIDECレッドの「D」は、人と人とのつながりを象徴しています。また、白抜きと色付きというネガとポジの関係は、影からサポートする姿勢や発想の転換を表現しています。

先端・左に大きく広がるIDECグレーは、さまざまなコラボレーション、パートナーシップから生まれる新しい可能性や付加価値の創造、事業領域の拡大と未来への成長、そして、全てにおいて常に時代の一歩先へ進むIDECの姿を象徴しています。

### コーポレートカラー

コーポレートシンボルの「IDEC」部分に採用したIDECレッドの「赤」は、「情熱」「飛躍」「躍動」「スピーディー」という、動的な活力とエネルギーを感じさせ、表現しています。

### ショルダーフレイズ

IDECはオートメーションを考え、さらにその先へ…、ものづくりの未来を創造していきます。

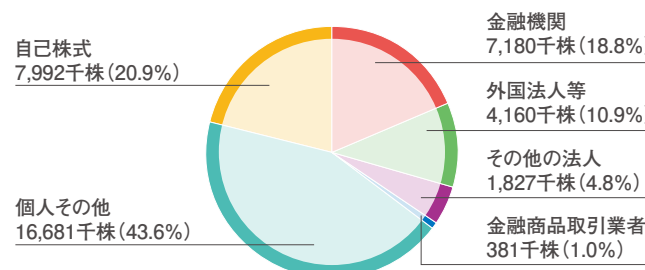
私たちの描くオートメーションの進化とは、単なる自動化技術の進化だけではありません。安全性や、操作性、信頼性、環境配慮など、人に優しい技術やさまざまな要素を進化させることによって従来の自動化技術にさらなる付加価値を与え、それら全体の進化によってオートメーションの可能性を拡大していく、それこそがこれからのオートメーションの進化であると考えています。

## 株式情報

株式の状況		
発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
150,000,000株	38,224,485株	9,923名

(注) 買取増請求への対応などにより、2015年3月31日現在の自己株式保有株式数は7,992,853株となっています。

### 所有者別分布



大株主(上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,744	9.08
有限会社松木興産	1,041	3.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,007	3.33
資産管理サービス信託銀行株式会社	822	2.72
株式会社みずほ銀行	812	2.69
藤田 慶二郎	777	2.57
株式会社三菱東京UFJ銀行	624	2.07
松木 恒雄	575	1.90
日本生命保険相互会社	514	1.70
DATALOGIC S.P.A	477	1.58

(注) 上記大株主の記載は、有価証券報告書の開示内容に準じています。 2015年3月31日現在